

2011年10月

日

報道関係各位

第10回JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭
ゼネラルプロデューサー 額賀 剛治



「第10回記念開催 JCF 学生映画祭 in Tottori」の

3つのコンペティション部門

＜学生映画部門＞＜学生アニメ部門＞＜鳥取県観光CMアイデア部門＞

に、それぞれにスカラシップが正式決定！

グランプリ監督と入賞者が、CM監督・テレビ制作監督デビュー！！

同時に10回記念開催キャッチフレーズが

＜学生よ！夢を忘れていないか！＞に決定！

鳥取開催記念シンボルキャラクター・＜さきゆうくん＞もデビュー！



JCF学生映画祭は、1999年、夕張市主催の＜ゆうばり国際ファンタスティック映画祭＞の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟（JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略）が、＜次代を担う映画監督の発掘と育成！＞をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出し、本年いよいよ記念すべき第10回目の開催を迎えます。


記念大会となる本年は、「第10回JCF学生映画祭 in Tottori」として、鳥取県助成事業として、11月19日（土）・20日（日）の両日、鳥取県米子市のコンベンションセンター（BIGSHIP）で開催いたしますが、コンペティションプログラムの3部門（学生映画、学生アニメ、鳥取県観光CMアイデアコンテスト）のスカラシップが正式決定いたしました。また、10回目の記念開催である本映画祭のキャッチフレーズが＜学生よ！夢を忘れていないか！＞に決定いたしました。このキャッチフレーズには、次代を担う学生映画監督に、作品の発表と研鑽の場を提供し、スカラシップ制度での新作制作支援等により、若き才能の育成を行ってきた本映画祭から、現代の学生へのエールの意を込めさせて頂いております。

学生映画の日本一を競う学生映画部門は、鳥取県内で、太陽光パネルの生産、販売を行う株式会社ナノオプトニクス・エナジー殿のご協賛を得て、「ガイナーレソーラーPresents学生映画AWARD」として開催いたします。グランプリ受賞者は、スカラシップとして、地元のサッカーJ2チーム・ガイナーレ鳥取の選手を起用し、同社のTVCMの制作を担当することが決定いたしました。また、入賞者（12名）は、サンテレビなどの西日本のU局と鳥取県の地元放送局で、2012年1月～3月に週1回放送を予定している、ミスキャンパスがナビゲーターを務める学生向け情報番組（30分番組）の監督に起用される予定です。

また、「マンガ王国」を掲げる鳥取県での開催となることから、未来のアニメクリエイターを発掘すべく開催される、「学生アニメAWARD」の入賞者は、中国のアニメ国際展覧会で作品発表されるとともに、上記のTV番組のタイトルバックの制作監督としてデビューいたします。

加えて、鳥取県の観光CMアイデアを募集する「鳥取観光CMアイデアAWARD」のグランプリ

り作品は、「学生映画AWARD」の入賞者の中から選出された学生映画監督により映像化され、鳥取県の公式観光CMの一つとして採用される予定であり、学生の手による地域活性化への貢献を目指して参ります。

また、鳥取県での開催記念シンボルキャラクターに、<さきゆうくん>  が決定いたしました。JCF学生映画及び学生の手による鳥取県の活性化のシンボルキャラクターとして、今後活躍を予定しております。

キャッチフレーズの<学生よ！夢を忘れていないか！>に相応しく、本学生映画祭を通じて鳥取から、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成と、地域活性化への取り組みの輪を全国に向けて創造・発信することを目指してまいります。

<第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori 開催概要>

- 名 称：第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori
<http://jcf.jpn.com/>
- 開催日時：2011年11月19日（土）～11月20日（日）
- 開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール
〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL.0859-35-8111
- 主 催：JCF 学生映画祭実行委員会
- 実行委員：実行委員長／高 秀蘭（映画プロデューサー）
特別顧問／平井 伸治（鳥取県知事）
特別顧問／藤原 洋（株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役）
顧問／赤井 孝美（イラストレーター、プロデューサー）
播間 光広（NPO法人喜八プロジェクト監事）
実行委員／木村 政雄（5L 編集長）
大和田 廣樹（映画プロデューサー）
武内 英人（株式会社エフエム東京執行役員）
太田 雅人（株式会社GETTI 代表取締役）
ゼネラルプロデューサー／額賀 剛治（株式会社 JCF 取締役）
- 企画制作：株式会社 JCF
- 制作運営：JCF 学生映画祭運営事務局
- 協 賛：株式会社ナノオプトニクス・エナジー
- 協 力：株式会社ナノオプト・メディア、NEWWAVE、GMHoldings 株式会社、
ライフエンタテインメント株式会社、PHUUK、OverDriveDesign、
ドリームキッド（予定）
- 後援予定：鳥取県／鳥取市／米子市／倉吉市／毎日新聞鳥取支社／読売新聞鳥取支社／
山陰放送／山陰中央テレビジョン放送／日本海テレビジョン放送／
株式会社エフエム山陰／TOKYO FM／ジャパンエフエムネットワーク／
5L／CampusNavi／Camjam（平成23年9月24日段階、申請中を含む）
- 行事内容
【1】学生コンペティションプログラム（映画・アニメ・CMのジャンルで、学生監督が競います。）

(1) ガイナーレソーラーpresents 学生映画 AWARD

(2) 学生アニメ AWARD

(3) 鳥取県 presents 鳥取観光 CM アイデア AWARD

【2】特別プログラム (10周年特別企画で様々な企画がございます。)

(1) 10周年特別プログラム 歴代 JCF 学生映画祭グランプリ受賞監督紹介

(2) 米子特別パートナープログラム

●入 場 料：無料 (入退場自由)

< 「JCF 学生映画祭」これまでの歩み >

JCF 学生映画祭は、1989年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の1億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」(現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。)の10周年特別協賛企画として、1999年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の949団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟 (Japan Club・Circle Federation) が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第1回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第1回から第3回までを夕張市で開催、第4回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第5回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初! 豊の上で映画祭」を開催、2010年にLVMH (ルイヴィトン) 映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君 (当時成蹊大学在学) を輩出しました。第6回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALL で開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第7回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007年、2008年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭2007・2008を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元 NPO 法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の2年間の活動の成果も残せましたので、いよいよ学生映画祭として本格的に再開すべく、記念すべき10回目の開催地として、「環境立県」を掲げる eco のまちである鳥取県での開催を実施いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-3 平河町伏見ビル9F 株式会社 J C F 内

第10回 JCF 学生映画祭 in Tottori 運営事務局

TEL. 03-3230-7770 / FAX. 03-3230-7024

<http://jcf.jpn.com/>